

平成30年度 第1回 安全・技術委員会 議事録

日時、場所

平成30年7月5日(木) 18:00~19:27 工業会事務所

出席者 (敬称略)

委員長 : 朝田 武志 (朝田金属工業株)
委員 : 川口 克司 (株エスケイケイ)、鈴木 猛 (株アマダマシンツール)
田渕 敬信 (株田渕製作所)、松井 渉 (佐々木工業株)
坂本 好伸 (株ハヤシ)、 和田 晃 (上田産業株)
朝田 善雅 (朝田金属工業株)
事務局 : 中西 順也 (文責)

議事

(朝田委員長)

今回から新しい委員が5名参加されて、新しい体制で委員会を実施いたします。活動内容としては①技能検定事業と②安全技術セミナー事業を2本柱とします。

①技能検定事業は別途有資格者による検定委員会議で推進し、当委員会では主に②安全技術セミナー事業を推進して行きます。まず第1回目として、以前から要望を受けていましたサーボプレスに関するセミナーの実施を検討します。

1. サーボプレスに関するセミナーについて検討 (総務・経営委員会からの依頼案件)

総務・経営委員会から講習会の意義目的とイメージ資料が出てきています (別途資料)

(事前調査)

- ・今回参加メンバーでサーボプレス機がある会社は、(株エスケイケイ (アイダ、アマダなど複数社を所有)、(株田渕製作所 (1台のみ)、上田産業株 (九州にはある) 朝田金属工業株、佐々木工業株は保有してない

(全体意見など)

- ・サーボプレスで何が出来るのかの特徴が各社で違う。まずこの委員会メンバーの方にサーボとは何かをわかって頂くことが先ではないだろうか。
- ・サーボで何が出来るかを一番具体例としてやっているのはプレスメーカーと思います。
- ・昔ほど各社での違いは少なくなっている。3メーカーで何(これ)が出来るかというテーマになれば、3社共「出来ます」という答えになってしまうと思う。しかしノウハウの部分は言えないだろう。
- ・白川先生はサーボプレス機能には詳しいかもしれないがコマツ産機株の昔のプレス機しか知らないと思う。
- ・パワープレスとの違いは抜きをすると音が全く違う、曲げは上下運動を繰り返すことで色々出来る、そして金型の持ちが良くなる。どのメーカーも同じ事を言うと思う。

- ・ 絞り上げる時に色々と変えてやると破れなくなることが利点
 - φ38×130Lくらいまでは絞ることが出来る、潤滑油が効いているとも言える
- ・ 単に薄板を曲げたり抜いたりなど技術力が必要でない仕事でもサーボは効果的か
 - 金型の持ちが良くなったり、初期コストが安くなったり、メンテがしやすくなるなどの効果はあると思う
 - また1工程にしたいが無理なので2工程としている場合は案外サーボで金型工夫すれば1工程で行ける場合が多い・・・などメリットがあると思う

(ディスカッションの進め方はどうすれば良いでしょうか)

- ・ 参加する会社がサーボを活用したいのか、サーボを導入したいのかでパネルディスカッションにおいても聞きたい内容が違って来るだろう。
 - どちらを対象にするのかターゲット（コンセプト）を決めた方が良いかも。
- ・ 従来プレスで出来なかったことがサーボで出来るようになった例があれば良いのでは
抜き、曲げ、絞りなどブロック分けした方がわかりやすいのでは
その方が各メーカーとも特徴を言いやすいのではないだろうか
- ・ 白川先生については
機能説明と言うことになれば、各社の機能が違うので難しいかなと思うが、「なぜサーボが必要か」という話をして頂ければ良いのでは、サーボは何が違うのかという解説をわかりやすくして頂ければ良いのではないのでしょうか

(まとめとして)

- ・ 白川先生にサーボの特徴など（抜き、曲げ、絞り）についてわかりやすく解説頂く
- ・ パネルディスカッションは、阪口会長、上田社長、川口氏に出て頂きたい。
 - あとメーカーから3社出席をお願いする
- ・ 参加費をどうするか要検討
 - 前回の白川先生のサーボプレスセミナーでは参加費無料で参加者12名でした。
(ポリテクセンターのセミナーではなく工業会のオーダーセミナーでした)
- ・ 開催時期は来年3月又は4月とします

(皆さんの感想)

本日の委員会では川口克司氏の話が大変ためになった。参加してよかった。

以 上

※次回の委員会は 11月 7日(水) 18:00～ 事務局にて